

写

受理番号	陳情第2号
受理年月日	平成27年11月19日


陳 情 書

平成 27 年 / / 月 / / 日

平成 28 年度における

「慢性腎臓病（CKD）及び生活習慣病対策」についての陳情

二宮町議会議長 添田 孝司 様

代表陳情者 足柄上郡中井町雑色 409  
中郡腎友会  
会 長 城所 優子 

陳情者 横浜市神奈川区台町 1-8  
ウェイサイドビル 504 号  
特定非営利活動法人 神奈川県腎友会  
会 長 前田 好夫

1. 陳情の要旨

慢性腎臓病（CKD）の予防や重症化を防ぐために、より一層の啓発活動を  
広域に展開する予算策定を、陳情申し上げます。

2. 陳情の理由

平成 25 年 2 月に発足した、神奈川県保健局保健予防課を事務局として、慢性腎臓病  
（CKD）対策連絡協議会が年 2 回程開催され、患者団体である NPO 法人神奈川県  
腎友会も委員として参加しており、CKD の予防・重症化防止などについて討議され  
てきました。

NPO 法人神奈川県腎友会は神奈川県より委託を受け、啓発活動として各市町村腎  
友会と共に「医療講演会」・「相談会」を、腎臓病専門医や栄養士の先生方と共に取  
組んでおりますが、一般市民、特に腎臓病予備軍と云われる多くの方々には、未だ認  
識されていないと思われます。慢性腎臓病（CKD）が悪化し透析医療を受ける事  
になると、治療費は概ね月当たり 40～50 万円程掛かります。

年々増加している神奈川県内に於ける透析患者数は、2013 年 12 月 31 日現在 19,149  
名（日本透析医学会調べ）となっており、CKD 対策は私達のように透析で苦しむ人  
を一人でも無くすためにも重要な取組みであり、医療費の削減にも繋がります。

高齢化による腎硬化症に加え、生活習慣病、メタボリックシンドローム、成人病な  
どによる糖尿病性腎症が大変増えていることから、病院施設での医師、栄養士を中心  
とした医療・栄養講演会、特に糖尿病・成人病予防対策を保健所なども通して、一般  
の人々への啓発が必要と考えます。

また、透析患者の立場から、県内各市町村の小中学校の生徒さんに（教育委員会と  
の調整を要する）福祉学習やふれあい交流学習会などの時間を通して、透析の怖さを  
始め、食事や健康の大切さ、そして、社会的弱者への思いやり等を知ってもらう為  
に、若年層への啓発活動を更に拡大、実施して欲しいと願います。

ゆえに、平成 28 年度予算策定にあたり、CKD の予防や重症化を防ぐために、より  
一層の啓発活動を広域に展開されて欲しく陳情申し上げます。